

研修部から、9月以降の活動につきまして、5点報告させていただきます。

1点目は、「第63回北海道小校長会教育研究 オホーツク・北見大会」についてです。

オホーツク・北見大会は、ご存じの通り、コロナウイルス感染拡大防止の観点から会同を中止し、全道の全会員に大会要項を配付、誌上開催としたことにつきましてご報告いたします。

各分科会の発表について、広く意見や質問などを募集したところ、全道各地より160件を超える意見、質問、感想をいただくことができました。中には、地区を挙げてのご対応をいただいたところもあり、感謝に堪えません。この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございました。

皆様からいただいた貴重なご意見は1月発行予定の小学校教育第57号に掲載いたしますので、おしらせいたします。執筆に当たられた皆様方には、大変なご苦勞をおかけいたしました。合わせてお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、10月5日には本大会の運営者研修会、反省引き継ぎ会を行いました。本会にはオホーツク・北見大会実行委員会の皆様、次年度開催地の、石狩・千歳大会準備委員会の皆様、さらには令和4年度開催の旭川市小学校長会の皆様を迎え、開催されました。この内容については、この後の協議において報告させていただきます。

いずれにいたしましても、オホーツク管内校長会の皆様方のきめ細やかな配慮と成功へ導く熱意をもって、会同中止の決定直前までご準備いただいていたことを皆様方にお伝えし、改めまして感謝と敬意を表す次第です。

2点目は、令和3年度 第64回北海道小学校長会教育研究 石狩・千歳大会についてです。大会の概要等につきまして、協議事項の中で、今村研究指名理事よりご説明をいただくことになっております。今後、石狩・千歳大会準備委員会、実行委員会の皆様と連携を図りながら、大会の成功に向け業務を進めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

3点目は、「第72回全連小研究協議会京都大会」についてです。10月29・30日の両日、京都市で開催される予定でしたが、残念ながら、こちらも会同はできず、誌上発表という形になりました。

北海道からの研究発表は、第2分科会「組織・運営」、視点①「学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくり」、もう一つは、の第13分科会「社会との連携・協働」、視点①「成長の連続性を生かした学校段階等間の接続・連携の推進」の2つの発表がありました。

第2分科会「組織・運営」は、第2ブロックより士別市立多寄小学校の森 広明校長先生が、第13分科会「社会との連携・協働」は、第3ブロックから函館市立湯川小学校の畑中 雅昭校長先生が誌上発表くださいました。どちらも地域の実情を踏まえ、確かな実践と校長のリーダーシップについて発表してくださいました。こちらの原稿は、本日の資料にも入れてございますが、京都大会実行委員会のホームページで見ることができます。ぜひご一読いただきたいと思います。

4点目は、「教育改革等に関する調査」についてです。7月に、全連小より依頼のあった教育改革、教育課程、現職教育等の調査用紙を各地区の研修部長の先生に依頼、8月に回収し、全連小へ送付しました。3月には調査結果が「研究紀要」の冊子となってお手元に届くことになっております。ご活用をいただければと思います。

最後5点目は、「地区研究活動」についてです。掲載する原稿については、各地区の研修部長の先生から、全てご提出いただきました。今後、北海道小学校長会のホームページに「地区研究活動」にアップされます。ご協力に感謝申し上げます。